



日本画 F100

入場無料

〜モネの庭にて〜

齊藤さゆり展

2023. 9. 10_{sun} - 10. 22_{sun}

※10月4日休園日

9:00 ~ 17:00 (最終入場 16:30まで)

会場 / フローラルホール

(北川村「モネの庭」マルモッタン内)



主催：株式会社きたがわジャルダン 後援：北川村・北川村観光協会・高知新聞社・RKC 高知放送・KUTV テレビ高知・KSS さんさんテレビ・エフエム高知

Jardin de
Monet
Marmottan
au Village de Kitagawa

北川村「モネの庭」マルモッタン
tel:0887-32-1233 fax:0887-32-1243

〒781-6441 高知県安芸郡北川村野友甲1100番地

コニエレニより秋の招待状

色と音 ことばで紡ぐモネの旅



2023年 北川村「モネの庭」マルモッタンでたくさんのイベントを開催します！

9.10 (日) → 10.22 (日)

・AM 9 時～PM 5 時「齊藤さゆり展」 入場無料

イベントスケジュール

モネの庭をテーマにした作品などの展示（日本画・水彩画） フローラルホール

9.10 (日)

・PM 1 時～3 時 「水彩 WS」 ～草花を描いてみよう～ 講師・齊藤さゆり 持ち物不要・随時受付 ギャラリー棟

500 円

10.7 (土)

・PM 2 時～ 「モネの旅」 ミニコンサート ピアノ・坂本美香子 案内 コニエレニ オープンデッキ

無料

・PM 2 時半～ ～ピアノを弾いてみよう～ 体験会 講師・坂本美香子 (雨天 フローラルホール)

10.8 (日)

・AM 10 時～12 時 「水彩 WS」 ～草花を描いてみよう～ 講師・齊藤さゆり 持ち物不要・随時受付 ギャラリー棟

500 円

・PM 2 時～3 時 朗読劇「モネを探して」 作、出演・赤松由美 ピアノ・坂本美香子 コニエレニ
オープンデッキ (雨天 フローラルホール)

無料

・PM 3 時～4 時 ～声に出して読んでみよう～ 朗読体験 講師・赤松由美 フローラルホール 500 円

10.9 (月祝)

・AM 10 時半～11 時 お話～たんぽぽと鼓～ 講師 (能楽)小鼓方観世流 鳥山直也 フローラルホール

無料

・AM 11 時～ ～小鼓を打ってみよう～ 体験 (先着 10 名) 講師 (能楽)小鼓方観世流 鳥山直也 フローラルホール

500 円

・PM 2 時～3 時 朗読劇「モネを探して」 作、出演・赤松由美 ピアノ・坂本美香子 コニエレニ
オープンデッキ (雨天 フローラルホール)

無料

・PM 3 時～4 時 ～声に出して読んでみよう～ 朗読体験 講師・赤松由美 フローラルホール 500 円

一般社団法人コニエレニ

赤松由美 (女優)、鳥山直也 (能楽師)、坂本美香子 (ピアニスト)、齊藤さゆり (日本画家) の 4 人で結成しました。
芸術文化で日本と海外をつなげる活動をしています。

赤松由美 (女優)



東京都八丈島出身。1999 年劇団演劇入団。
以降 2018 年に退団するまで全公演に出演。唐十郎に師事。
ポーランドの映画監督イェジー・スコリモフスキの映画に
感銘を受け、コニエレニを設立。
2022 年、サイマル演劇団+コニエレニ「コスモス」に夫人役で出演。
ポーランド・ラドム市のゴンプロヴィチフェスティバルで
準グランプリにあたる団体賞を受賞した。

鳥山直也 (能楽)小鼓方観世流



愛知県豊田市出身。東京都小平市在住。
国立能楽堂三役養成研修修了。観世豊純及び観世新九郎に師事。
国内外の舞台に出演する傍ら普及活動にも尽力。
映画「必死剣鳥刺し」、NHK 大河ドラマ「真田丸」等多数出演。
能楽協会会員。藤菜会主催。狛江能楽普及会会員。
豊田文化奨励賞 芸術文化奨励賞 受賞
WE LOVE とよたスペシャルサポーター



齊藤さゆり (日本画家)



東京都出身・在住
武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒
東京セントラル美術館日本画大賞展入選
上野の森美術館絵画大賞展入選
青垣 2001 年日本画展 (東京新聞賞)
日本画・水彩画・イラスト制作 個展グループ展多数
国内外で日本画・水彩画ワークショップを行う
著書「散歩道の美しい草花」Mdn コーポレーション

坂本美香子 (Piano)



青森県出身。千葉県在住。
音楽専門学校卒業後、ピアノ講師をしながら放送大学卒業。
これまでにカフェやレストランでの BGM 演奏、
主にフルート、オカリナ、合唱のピアノ伴奏、
「探究する心」に焦点を当てた音楽入門講座の企画講演などを行う。
2019 年、音楽修行を兼ねたポーランドへの短期語学留学を実現。
とにかくピアノが好きすぎて離れられず、現在に至る。